

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）4月分報告書

派遣先：マラヤ大学（マレーシア）

氏名：安江 詠星

こんにちはマレーシアのマラヤ大学に留学中の安江です。今回は2セメスター目の中間休みについて書こうと思います。2セメスターに突入してからと生活に慣れてしまっているのもあり、段々と普段の生活サイクルがマンネリ化していっています。サイクルといっても授業と図書館と寮の往復の日々です。中間休み前ということもあり、いくつかの授業ではプレゼンやテストがあって少し忙しかったですがローカル学生と比べるとたいしたことはなく、自分が取っている授業は4つくらいなのでこれの倍の数を履修している彼らの勉強量は本当にすごいなといつも思っています。今回は中間休み中にいったマレーシア第二の都市ペナン島とシンガポールへの旅行を中心に書いていこうと思います。

さて、2セメスターが始まった直後ですが今月には10日ほどの中間休みがありました。ローカル学生にとっては帰省の期間ですが、留学生にとっては割と暇な期間になります。さすがに毎日寮で過ごすのは退屈極まりないので国内外に旅に行く人が多いです。前回の中間休みはタイに行きましたが今回はマレーシアのペナン島と2回目のシンガポールに行きました。ちょうど地図でみるとマレー半島の左端から右端という旅路です。ペナン島はマレーシアでの第二の都市のような場所で島でありながら最近はかなり開発が進んでいます。中華系の人口が多く世界遺産にもなっているジョージタウンはプラナカン建築（中華系の移民＝プラナカンの住居に多い見られる華やかで奥行きのある建築洋式）が多く有り、中華系料理の店も多かったです。クアラルンプールに比べると小さいですが、日本人コミュニティも昔からあり、タクシー運転手曰く最近日本人の移住も増えているようです。ペナン島へはクアラルンプールから飛行機で約45分、往復4000円くらいでいけるのでアクセスもいい場所なのでおすすめです。ペナンの後はそのままシンガポールに向かいました。二回目の訪問だったのでほとんど有名どころは回ったことがあるのですが、前回いけなかった屋内植物園やフラワーガーデン、空港横に新しくできたモールを回り、その圧倒的な「未来都市国家感」を味わいました。同じタイミングでシンガポールに来ていた国際地域学部の土田さんと合流し、普通の大学生が行くには場違いな高級茶葉店に行き貴族のアフタヌーンティーごっこをするなど、前回と違った楽しみ方ができたのでよかったです。また、ちょうど今年のコナンの映画の舞台がシンガポールだったのでここも爆破されるんだろうなと思いつつマリナーベイサウンズを歩いていました。ちなみにマライオンは工事中でした。二度目の訪問で良かったと思いました。

シンガポールはマレーシアの一部だったこともあり、言語や民族構成など2つの国には似ている部分が多いです。どちらの国のどの民族の視点から述べるのかで語り方は大きく異なりますが、客観的に述べるのであれば文化の構成要素はほぼ同じですがその割合が違い、さらにシンガポールのほうは小国ゆえの開発スピード、外資による発展とハブ化、

平均的な教育水準や賃金の底上げとそれに伴う競争など現在の経済水準でシンガポールがリードしていると思われます。マレーシア側からシンガポール側の学校に子どもを通わせたり、出稼ぎに行ったりといのはよく聞く話です。実際に橋を渡っただけで国が代わり、物価やカルチャーが大きく変わるのは新鮮でした。実際に店の人や運転手にマレーシアで勉強しているというともれなく全員にあそこは治安が悪いと言われました。どうやらシンガポール人にとってのマレーシアのイメージはあまり良くないみたいです。

さて普段の生活が特に代わり映えのないものになっているが故の旅行記的報告書になってしまいましたがいかがでしたでしょうか。マレーシアは LCC のハブ空港なので東南アジア圏への旅行がしやすく、また旅行することで他の国との違いや似ている部分を見つけることができるので良い経験となりました。

(写真：ペナンにあるプラナカン博物館・世界一海に近いというスタバの裏にある海、シンガポール・チャギ空港に隣接するショッピングモール)

